



# 想青学園だより

～ 学びあい 育ちあう～

2026年(令和8年)5月29日 No.5



## 第5回体育祭

5月23日(土)、想青学園の運動場は子どもたちの声援と大きな掛け声、はじけるような笑顔、真剣なまなざしでいっぱいでした。たくさんの保護者の方々にも来ていただき、ありがとうございました。5回目を迎えた体育祭は、青組の優勝となりましたが、赤組も青組も最後まで一生懸命で、子どもたちのもつ可能性やパワーに圧倒されました。子どもたちのそんな姿から、一生懸命ってやっぱりかっこいいんだなあと感じました。

保護者の皆さんにおかれましては、当日を迎えるまでにもご家庭でたくさん声掛けや応援など、あらゆる場面で支えてきてくださったことと思います。そうした支えや応援のおかげで子どもたちは本番を迎え、最後までやり切ることができました。本当にありがとうございます。PTA役員の皆さんには、前日のテントの準備や当日の設営、駐車場の管理など、時間と労力を割いて、この体育祭を支えていただきました。この場を借りて、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、児童生徒のみなさん、体育祭を振り返ってみてどうですか。

きっと普段の授業や学校生活では感じられなかった達成感や充実感を得ることができたのではないのでしょうか。こけてもすぐに立ち上がり、最後まで走り切った人。組体操で、ズボンについた砂を一度も払わず、演技に集中していた人。徒競走で脱げた靴をテントからすぐに拾いに行き、届けた人。下級生の子たちを盛り上げ、ずっと大きな声で盛り上げていた人。体いっぱい使って、全力で踊った人。こうして思い返すだけでも、数えきれないほどの感動やドラマがありました。間違いなく、一人一人の成長と学びの場となったと思います。

体育祭は終わりましたが、ここで学んだことや胸に残った感情は、これからの生活にぜひ生かしていきましょう。きっとみなさんの原動力となってくれるはずです。

最後になりましたが、体育祭をひっぱってくれたリーダーのみなさん。本当にお疲れさまでした。ラジオ体操リーダーやクラスを引っ張ってくれたリーダー、ダンスリーダーや応援リーダー、たくさんのリーダーが体育祭を成功させるために自分の時間を削って頑張ってくれました。そうした人たちの苦労や悩み、緊張や不安はみんなに知られるものではありません。しかし、それを乗り越えて見せた当日の姿はとても立派なものでした。それは間違いなく見ている人たちに伝わっています。胸を張ってください。そして、体育祭を経てパワーアップした皆さんが、これからどのような姿を見せてくれるのか楽しみにしています。

